



名古屋青年

NAGOYA YMCA NEWS

2010 **11** No.660

昭和27年5月13日 第三種郵便物認可
毎月1日(月刊 定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)

●発行所 名古屋キリスト教青年会 〒461-0002 名古屋市東区代官町35番16号 ☎052-932-3366 ●発行人 加藤明宏 ●編集人 徳田 望

年間聖句

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」

(テサロニケの信徒への手紙一第5章 16～18)

戦時下のフィリピン

一元東京 YMCA 主事であった藤田正武牧師は、第2次世界大戦中徴兵を受けフィリピンに渡り、フィリピン YMCA 総主事のドミンゴ・C・バスカラ氏と出会いました。日本軍が禁じていた募金活動が発覚したことでバスカラ氏は憲兵に連行されますが、藤田牧師は自分が許可したとの虚偽の証言をし、釈放に尽力しました。バスカラ氏は戦後モンテルパ日本人戦犯の教戒師を務め、日本人戦犯の助命運動に奔走し、運動は広がり53年キリノ大統領は108人の戦犯を釈放しました。藤田牧師は2000年2月に天に召されましたが、その追悼集「信仰と希望と愛」が今年7月に刊行されました。一

藤田正武牧師とバスカラ博士



名古屋YMCA元総主事 **木本 精之助**

1978年香港でアジアYMCA同盟主催の協議会があり、日本から私を含めて数名の代表が出席しました。その旅の途中、マニラに立ち寄り、フィリピンYMCAの友人の案内でバスカラさんをご自宅に訪ね、再会しました。

1965年カナダ東部でワイズメンズクラブの国際大会があった時、私は日本からの参加者として出席しましたが、バスカラさんの名を耳にしたのはその時でした。次の年の66年ホルルでの国際大会には基調講演のスピーカーとして招かれ、出席者の心に残る名演説をなさったようです。バスカラさんのスピーチとして日本人にとって注目すべきは、ずっとさかのぼって1951年YMCA北米大会でなさったスピーチです。「フィリピンは被害者であるが、決して日本人を恨んではいない」という旨の宣言をなさいました。バスカラさんの名が国際的に話題になり始めたのはこの頃からでした。そこですでに「憎しみを愛と赦しに」「赦しがたき

を赦す」という博士の崇高な信仰・思想の萌芽を感じます。2年後の53年、この崇高な理念はキリノ大統領による死刑囚52名を含む日本人戦犯108名全員赦免の特赦す声名によって具現化されました。

私が藤田さんを知るようになったのは、*叔父が家で藤田さんの話をいろいろするのを聞いていたからです。「藤田さんは戦争中フィリピンでいい仕事をしてくれた」とちよくちよく話していたのを覚えています。「いい仕事」の細かい内容は憶えていませんが、こんなことはよく言っていました。「確かに日本軍は酷いことをしたが、こういう人が日本軍の中にいてくれたことは日本にとって救いになったなあ」と。藤田さんのような人の存在はほとんど知られていませんが、今からでも遅くない、書き残しておくべきだと思います。

名古屋YMCAも、フィリピンYMCAと比較的深い交流を続けています。1979年三

ンダナオ島コタバトに発生した大地震と津波の災害復旧のためのワークキャンプに青年キャンパーを派遣したことがきっかけとなり、春の1ヶ月近い期間ワークキャンプに青年を派遣して現地の青年と農村開発や災害復旧に奉仕する計画が回を重ねることとなりました。それと共に、名古屋YMCAではフィリピンの若手主事を日本に招いて研修の機会を提供することを実施してきました。最近では2008年9月(アルバイ州)と2009年3月(カガヤン州)に青年グループを派遣しています。カガヤンバレーYMCAコロンニア・ドミナドル(通称ドミ

ニ)総主事は名古屋YMCAで研修をした主事です。
*故木本茂三郎氏(東京YMCA元総主事。主事同志として藤田牧師と親しい関係であった)

クリスマスキャロル in タワーズライツ 2010



- 日時：2010年12月23日(木)
①18:00~18:30
②19:00~19:30

■場所：JR名古屋駅タワーズガーデン
坂倉 洋実行委員長(名古屋グランパスワイズメンズクラブ)を中心に、準備が進んでいます。是非ご参加下さい。(事前練習日があります)



維持会員

2010年9月16日~10月15日

代官町〔新入〕

水谷 里美

代官町〔継続〕

伊藤 麻里

橋爪 良和

水谷 克巳

南山〔継続〕

太田真知子

維持会員としてのお支えを心より感謝申し上げます。

松村 隆

橋爪 圭子

酒井 晴彦

早川 匡彦

加藤 宏

伊左治正文

近藤よし恵

加藤田鶴子

伊左治クミ子

(敬称略)

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」



全国リーダー研修会



わいわい!フェスタ



ポップー泊例会

ハイチ地震支援～メッセージを現地へ

今年6月に実施した『ハイチ地震支援街頭募金』に参加してくれたお友だちが書いてくれたハイチのお友だちへのメッセージを、来日していたハイチ総事とハイチの中学生に直接お渡しすることができました。お友だちのメッセージや絵を見てとても喜んでくださいました。みんなのやさしい気持ちがハイチのお友だちに届きました。

名古屋YMCAでは国際協力募金をすべての人たちが、平和にいきいきと生活できる社会を作るために役立てたいと思っています。YMCAでは年間を通して、国際協力募金を行っています。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

全国リーダー研修会を終えて

先日、第41回YMCA全国リーダー研修会に名古屋YMCAのリーダーを代表して参加しました。そこで、2泊3日という期間の中で基調講演・ワークショップ・グループ討議を通して、今回のテーマである「リーダー力を磨こう!」について、全国のYMCAリーダーと共に考えを深めました。

ワークショップの1つである子供を観察する力の講義で、「自分の考え・スタンスを代えることは子供の共感につながる」という言葉に胸を撃たれ、「子供はただやらされているだけではないか?・自分の考えを押し付けていないか?」と考えさせられました。

また、グループの中では「リーダー力を高める=子供のためになる」という話し合いを中心に様々な意見や考えを交換する事ができ、リーダーとはどのような存在でなければいけないのか考えさせられました。その他にもゲームや歌などを通してたくさんのリーダーたちと交わる時間があり、たくさんの刺激と思い出を各YMCAのリーダーからもらうことができ本当に実りのある3日間でした。

研修会を終えて、リーダーとしてだけでなく、人生の中でも大きな財産になりました。今回の経験を生かして、名古屋YMCAのリーダーとして今後ある様々な活動で生かしていきたいと思えます。

(おいどんリーダー:長崎圭祐/サッカー・野外活動シーカース)

■名古屋YMCA早天祈祷会■

毎月1回、名古屋YMCA(東区代官町)を会場に奨励を聞き、心やすらかにして祈る時を持っています。どなたでも、ご参加いただけます。

12月予定

12月1日(水)午前7:45~8:30

奨励:西村 清氏(名誉理事)

※次回は2月です

■名古屋YMCAボランティアセンター■

ワイズコーナー

クラブ名 開催日時	テーマ・講師など	会場
名古屋 11月9日(火) 18:30	卓話「想いを込めた遺言書の書き方・考え方」 平良一器氏(司法書士)	名古屋YMCA
名古屋東海 11月11日(木) 18:45	卓話「よみがえる?里山」 小野知洋氏(金城学院大学教授)	ラ・スース ANN
名古屋南山 11月11日(木) 19:00	第一例会 卓話	南山YMCA
名古屋プラザ 11月4日(木) 18:45	反省会	めん処 勝美屋
名古屋グランパス 11月6日(土) 8:00	第17回チャリティーラン	名城公園

みんな仲間!わいわいフェスタ

10月23日(土)名古屋YMCAにおいて、ワイズメンズクラブを中心とした会員のみなさん43名に参加いただき開催しました。みんなで手巻きずしや、たこ焼きを作りながら楽しい交流の時を持つことができました。YMCAのこの夏の活動報告や、親父バンドの素晴らしい演奏を堪能しました。

名古屋YMCA 活動紹介

ポップ

10月は年に1回のお泊り例会でした。カヤック体験をしに電車とバスに乗って四日市少年自然の家に行きました。無事到着しお昼ご飯をいただいた後は、早速カヤック体験です。

まずカヤックを教えてください施設の方からカヤックに乗るときの注意することやルール、道具の使い方を聞きます。みんなの聞く姿勢は真剣です。「自分の命は自分で守る」というルールから「できることは自分でする」ことを感じ取ってくれたようです。

パドルの漕ぎ方のレクチャーも受け、いよいよカヤックに乗り込みます。リーダーと息を合わせて「右、左、右、左」と声を出しながらパドルをこぎます。はじめはうまく漕げなかったお友達もしっかり水を捉えて力強く漕げるようになったり、バックで漕げるようになったお友達もいました。水の上を自分の力で突き進む感覚はドキドキ・ワクワクというなんともいえない楽しさがあります。みんなその楽しさを味わうことができカヤックを終える時には「まだやりたいよ〜物足りない!!」という声が続出でした。次の機会にまたやろうね。夜はみんなが楽しみにしていたキャンプファイヤーをしました。火の神様がトウチを回してくれる演出があったり、歌やゲームをたくさんして大いに盛り上がりました。2日目は自炊をしました。グループごとでそれぞれが割り振られた担当を協力して作ることが出来ました。とても美味しいハンバーグとご飯ができあがりみんな残さず完食しました。

洗い物を済まし、ふりかえりをしたらもう名古屋に帰ります。帰り道は、バス停から重たい荷物を持って40分もかかった道のりがあります。しかし誰一人文句も言わずお友達と楽しく会話をしながらしっかりと足取りで歩く子ども達の姿がありました。そんな後ろ姿を見て、たった1泊ですがみんなと自然がたくさんある中で共同生活をするのは、子ども達をたくましく成長させてくれるものなんだと改めて感じました。今回1泊の活動をしたことでお友達との新しい関わりも増え、少しずつポップのお友だちの中に「みんなのわ」ができてきた例会となりました。(つけめんリーダー:川村一公)

サニーキッズ・英語で楽しむハロウィーン

10月3日に英語で楽しむハロウィーンを行いました。みんなかわいい仮装をしてYMCAに集合してくれました。Will先生からハロウィーンのお話やゲーム(目玉リレー、リンゴ釣り、ミイラゲーム)クラフトなどを教えてもらい、みんなでかぼちゃのジャック・オランタンを作りました。

また、最後にボランティアのお話リーダーのみなさんも参加していただき、楽しい1日を過ごしました。

次回は11月に感謝祭を行います。

